

# 「九条の会・泉佐野」 賛同者千名超す

「日本国憲法を守るとい  
一点で手をつなぎ…一人ひ  
とりができる、あらゆる努  
力を」と、作家の大江健三郎  
さんら九人のアピールに賛  
同する運動が泉佐野で始  
まったのは本年四月から。

五月七日には元市長、弁護  
士・医師・学者ら十五氏の呼

びかけで「九条の会・泉佐野」が  
百七十人の参加で結成され、  
この運動が本格的にスタート  
しました。

以降、この運動は市民の中に  
根づきはじめ、六月末には「九  
条の会アピール」に賛同する  
という市民・在勤者の方々が  
千十七人になりました。(裏面

に、賛同者のうち、「名前を公表

## いずみ市民生協

## 「九条の会」の運動に参加

「九条の会・泉佐野」に嬉し  
いニュースが届いています。  
安心して食生活を営むこと  
のできる社会を…と運動を続  
けてこられた「いずみ市民生

活共同組合」。六月七日に開い  
た第31回通常総代会で「世界  
の恒久平和のため、憲法第九  
条を守るとりくみを広げる」  
ことを確認したという知らせ

してもよい」という方々のお名前  
を記載させていただきまし  
た。賛同者が二千名、三千人と  
もっと大きく  
広げる運動は  
これからです。



## あなたも「九条の会」賛 同者になってください

ご協力頂ける項目に○をつけて、下記までご返  
送ください(ハガキに貼り付け又はFAXで)

- 1 賛同者になり、氏名を公  
表してもよい
- 2 賛同するが、公表できない

お名前

ご住所

TEL

FAX

です。これを受け、泉佐野市

域の属する「りんくう地域委  
員会は、「九条の会・泉佐野」  
と共に九条を守る運動に参  
加」することになりました。

泉佐野市の生協加入世帯は  
数千世帯。九条を守る運動  
の大きな  
力となり  
ます。



## 戦後六十周年講演会にご参加を

今年の八月は戦後六十周年の  
節目の年です。この六十年、  
私たちの国が戦争で人を殺す  
ことも、殺されることもな  
かったのは「憲法九条」が  
あったからです。一方、六十  
年の歳月は戦争を風化させた  
とも言われています。

「九条の会・泉佐野」では、  
「イラクから見た日本国憲  
法」をテーマとした講演会  
を八月十四日に開催します。  
講師の西谷さんは、イラク  
戦争の中、イラクで子ども  
たちを守るボランティア活  
動を続けてこられ、マスコ  
ミも報道しなかった市民・  
子どもたちの姿を、多くの  
映像を使って話していただ  
きます。

この節目の年に「戦争と  
は…」「戦争で市民や子ども  
たちは…」を考えるために、  
いま、イラクは戦争でどう  
なっているのかを知ることが  
大切ではないでしょうか。

多数の市民の皆さんのご  
参加をお待ちしています。

イラクで何が起きているのか。何の罪もないイラクの子ども  
たちが殺され、傷つけられている。マスコミではわからないイラ  
クの断面。イラクのいまを知り、日本の憲法第9条が世界に果た  
す役割を考えませんか

## 戦後60周年講演会

映像で  
語る

# イラクから見た 日本国憲法

- とき 8月14日(日) 1時30分開場(2時開会)
- ところ 生涯学習センター
- 講師 西谷文和 氏  
フリージャーナリスト・元吹田市職員  
「イラクの子どもを救う会」代表

西谷文和氏は、吹田市役所職中、タウン情報誌『くおーたりー  
SUITA』の編集長として活躍。地域の活性化、環境を守る住民運動  
に積極的に参加。

この間、コソボ・アフガニスタンなどの紛争地を訪れ、「戦争の  
一番の被害者は子どもたち」であることを、つぶさに見てきた。

そしてイラクを訪問し、劣化ウラン弾の後遺症など、戦火の下で  
苦しめられる子どもたちの姿に心を打たれて、彼らのために働くこ  
とに専念しようと、「イラクの子どもを救う会」を設立し、市職員  
を辞め会の代表となる。

米軍をはじめとする侵攻、いっこうに収まらないテロ……戦火  
にあえぐイラクから、憲法第9条をもつ日本を見るとき、平和の尊  
さを知るとともに、これを改悪しようとする勢力の危険を指摘し、  
警鐘を乱打している。

